

目的

SS ラリーの運営に携わるオフィシャルが、各自の役務の遂行の際に順守すべきことをポジション別に分かりやすくまとめた

想定使用方法

競技会での配置が決まったオフィシャルが、競技会前に各自のやらなくてはならないことを理解する為の解説書

※現場で使用するための簡易版の配布用マニュアルは別に用意済

対象

基本的に該当役務経験者及び経験者の監視下にある初心者・補助員

想定競技

準国内格式からWRCまでのSSラリー

略号：コード例

・ WRSR	WRC Sporting Regulation 2024
・ RRR	Regional Rally Sporting Regulation 2024
・ APEX_H	International Sporting code APPENDIX H 2024 (H項)
・ ラ開規_細ス	ラリー競技開催規定 細則スペシャルステージラリー開催規定 2024
・ SC	スペシャルステージコマンダー
・ DSC	デュプティスペシャルステージコマンダー
・ 無線感明(感度) =メリット (自衛隊基準)	1：雑音の中に、かすかに通話らしいものが聞こえる程度 2：雑音が多く、話もゆがんで何回も繰り返して話に通じる程度 3：雑音、ひずみは多少あるが、割合容易に通話ができる 4：雑音は多少残るが、十分明快な通話ができる 5：雑音が全くなく、非常に明快地に通話できる
・ 緊急出動車両 (MIV・TIV・FIV)	医療チームの乗るMIV(Medical Intervention Vehicle)、技術チームの乗るTIV(Technical Intervention Vehicle)、または両機能を統合したFIV(First Intervention Vehicle)がSSに配置される
・ 方向の表記	本ガイドでは、モータースポーツの通例に則り、通常走行の競技車の方向を基準に表記した。スタートを例にとると、STOP方向を「前方」、TC方向を「後方」と記載した
・ 国際格式	本マニュアルに記載された「国際格式」とは、WRSRもしくはRRRに基づく競技を言う

【TWZ(Tyre Warming Zone)について】

2023年版ラ開規_細スにTWZを設置に関する下記の規則(第22条)が追加され、2024年版で「設置場所は、タイムコントロール後が望ましい」と追記されたが、TCの前の設置も可能である。TWZでの安全を確保するための、特別規則書・公式通知等の記載に注意すること。また、TWZ外でのタイヤウォーミング行為の取り締まり方法についても主催者に確認しておくこと。

【トラッキングについて】

2024年版ラ開規_細ス第1条19)にトラッキングに関する規則が追加された。内容的にはトラッキングが必須と明記された以外は、推奨事項だけである。

【車載カメラに関して】

2024年JAF国内競技車両規定・第2編ラリー車両規定の第2章第1条に車載カメラの取付方法に関する規則が定められた。基本的には車検等で確認される内容だが、確認しておいた方がよい

※ ご意見、ご要望は右のメールアドレス(QRコード)までお願いします。 kwat@f2.dion.ne.jp



LEG START(TC0など)、REGROUP OUT

<備品 及び 開設準備>

- 主催者の定めた時刻もしくは、遅くとも1号車スタート時刻の30分前までに開設する →WRSR & RRR 42.4.1
→ラ開規_細入_21条_1.(6)
- 電波時計 時刻を確認 →ラ開規_細入_9条_2.
- TC看板・予告看板・解除看板の設置は「各コントロールの設置について」を参照する →WRSR & RRR APPENDIX I
→ラ開規_細入_別添2
- 解除看板 TC看板の約5m前方に →WRSR & RRR APPENDIX I
→ラ開規_細入_16条_4. 別添2
- タバードの着用、チーフはチーフとわかるタバードを着用 →WRSR & RRR 42.6.2
→ラ開規_細入_21条_3.
- 無線・携帯 HQ との感度確認
- タイムカードの記入は公式審判員資格B3級以上の所持者が担当 →ラ開規_細入_9条_1.
- **スタートリストを事前に入手しておく**
- **タイムカードを00カー通過前までに入手しておく**
- 00カー通過後は競技体制を維持 →ラ開規_細入_13条

<競技中>

- ① 事前にスターティングリスト通りに、スタート予定時刻と車番をタイムカードの予定時刻欄に記入
- ② スタートに競技車が到着し、実スタート時刻が確定したらタイムカードの実スタート時刻欄に記入し、タイムカードを手渡す。
※スタート時刻にはクルー 2 人と車両が到着している必要がある → WRSR & RRR_42.4.2
→ラ開規_細入_22条_3.
- ③ 記録用紙記入 (次ページ参照)
- ④ スタート時刻になったら、スタートの合図を送る
- ⑤ 10分以上のリグループの後、リエゾンがなくSS・SSSに続く場合は、空気圧調整可(国際格式) →WRSR 13.8 & RRR 13.10

<特記事項>

★遅着の場合

スタートに遅れた競技車がいた場合、HQに報告し対応は相談する。
15分以上遅れた場合はスタートさせない。

→ラ開規_細入_19条_3)

★競技車が来ない場合

競技車が来ない場合は間隔を詰めず、スタートリストのスタート時刻通りに対応すること

★ダメージのある車両

4つの自由に回転する車輪(ホイールとタイヤの両方が正しく装着されている状態)で走行できない車両・ドライバーの視界を著しく妨げるほどフロントガラスにダメージを負った車両は競技中一切走行させてならない(前者は国際ではロードセクションのみ適応) →WRSR 34.1.5 34.1.6 & RRR 13.10
→ラ開規_細入_10条_11.

LEG START(TC0など)、REGROUP OUT

タイムカード (TC0の例)

※赤文字部分を記入する

スターティングリストの予定スタート時刻を記入

実際のスタート時刻を記入

エントラントへの告知事項がある場合は、メモ欄として利用する (告知初号車も記録)

記録用紙

※ 数字はダミーです

告知内容: (渋滞状況等) 告知初号車

S=スタート早/遅、P=パルク違反、報=HQへの報告 告知=渋滞情報等の選手告知

車番	予定時刻		実スタート時刻		違反(要連絡)		告知	備考
	hour	min	hour	min	S	P 報		
1	00	09:33	09:33	09:33	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
2	0	09:58	09:58	09:58	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
3	1	10:04	10:04	10:04	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
4	2	10:05	10:05	10:05	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
5	3	10:06	10:07	10:07	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10秒遅刻

スターティングリストより転記

反則スタートがあった場合の内容

HQへの報告の忘備録

SS前 TC

<開設準備>

- 主催者の定めた時刻もしくは、遅くとも1号車スタート時刻の30分前までに開設する →WRSR & RRR 42.4.1
→ラ開規_細入_21条_1.(6)
- 公式時計の時刻を確認 →ラ開規_細入_9条_2.
- TC看板の約25m後方に予告看板を設置 →WRSR & RRR APPENDIX I
→ラ開規_細入_21条_1.(1) / 別添2
- タバードの着用、チーフはチーフとわかるタバードを着用 →WRSR & RRR 42.6.2
→ラ開規_細入_21条_3.
- スタート・SCとの無線感明(感度)確認
- タイムカードの記入は公式審判員資格B3級以上の所持者が担当 →ラ開規_細入_9条_1.
- 00カー通過後は競技体制を維持 →ラ開規_細入_13条

<競技中>

- ① エリア進入時刻チェック
目標チェックイン時刻の1分以上前のエリア進入はSC経由HQへ報告 →WRSR & RRR_44.2.8
ラ開規_細入_23条_7.
- ② チェックインタイム(カードを受取った時刻)をタイムカードに記入 →WRSR & RRR_44.2.5 & 44.3.1
→ラ開規_細入_24条_2.②
- ③ 遅着早着チェック
目標チェックイン時刻(前TCのスタート時刻 + 目標所要時間、前TCがSSを伴う場合は、SSスタート時刻 + 目標所要時間)に対して実際のチェックイン時刻を確認、遅着・早着はSC
経由HQへ報告 →WRSR & RRR_44.2.6 & 44.2.9 & 44.2.10
→ラ開規_細入_23条_12.
- 15分以上の遅着となった場合、レグ離脱/リタイヤとなる可能性がある。国際格式では各TCもしくは1日の遅着時間の累計が30分を超過した場合(エントラントへの通告はセクションの終わりでなされる) →WRSR & RRR_45.1 & 45.3
→ラ開規_細入_別添5
- ④ パルク違反監視(TC予告看板・解除看板間では一切の車両整備禁止)
TCからスタート時刻まで13分以上ある場合は、タイヤ圧は調整可(国際格式のみ) →WRSR 13.8 & RRR 13.10
- ⑤ 告知事項伝達
- ⑥ チェックイン手順への違反を目撃した場合、迅速にチーフが文書で競技長へ報告する(国際格式) →WRSR & RRR_44.2.12
- ⑦ 記録用紙記入(次ページ参照)

<撤収時>

- 全競技車が到着、もしくは最終号車の到着予定時刻(国際格式は最大遅着時刻)後15分を経過 →WRSR & RRR_42.4.2
→ラ開規_細入_21条_1.(7)
- Sweeper通過まで競技体制を維持 →ラ開規_細入_13条

<特記事項>

- ※ チェックイン時刻には2人のクルーと車両が到着している必要がある →WRSR & RRR_44.2.3
→ラ開規_細入_23条_3.
但し、エリアが競技車で混雑していてエリアに進入できない場合は、コドラが車両を降りてタイムカードを提出することができる。この場合、当該車両にはパルクフェルメ規制が適用される。
- ※ 記入時刻は00:01~24:00(WRCは00:00~23:59)の形式で記入 →WRSR & RRR APPENDIX II 6.1
→ラ開規_細入_20条_1.
- ※ TWZがある場合、TWZに入る前にSSと同様の装備を装着しなければならない →WRSR & RRR_44.4.5
→国際格式のみ、国内格式でも特別規則書に規定されている場合もあるので要確認
- ※ 前SSでのインシデント等で、多数の競技者が同時にTCインする場合がある。正確なチェックイン時刻をタイムカードに記入することが最優先事項となる。このような場合、TC遅着となる場合も良くあるが、救済される場合もあるので、独自の判断はせず、実時刻を記入し、必要ならCROに連絡する様、エントラントに助言する。競技長が救済を決定しているか事前に確認できれば、その旨エントラントに伝達する。

SS前 TC

タイムカード (サンプル)

※赤文字部分を記入

TC 1 SS 1 西山A 南下 1
4.427 km

フィニッシュ時刻
H 09 M 22 S 10 I/10 2

スタート予定時刻
SS 1
H 09 M 07

実スタート時刻
H 09 M 07

目標時間
H 00 M 55

到着予定時刻
H 10 M 02

TC 2

TC 2 SS 2 西山B 南下 1
3.354 km

フィニッシュ時刻
H M S I/10

スタート予定時刻
SS 2
H 10 M 05

実スタート時刻
H M

目標時間
H 00 M 55

到着予定時刻
H M

TC 3

タイムカード記入時は秒は切捨て

<目標チェックイン時刻>
前TCのスタート時刻 + 目標所要時間
※前TCがSSを伴う場合
SSスタート時刻 + 目標所要時間

タイムカードより転記(全車同分が記載されている)

タイムカードを受取った時刻(秒については概数)

チェックイン時刻の3分後(秒は切捨) **TWZがある場合は、3分とは限らないので、要確認**
前車と同刻でも構わない

タイムカードから転記
・前がTCがSSを伴う場合はSSの実スタート時刻
・その他は、前TCのスタート時刻

コントロールエリア内での整備を行った場合は、チェックを付け、SCへ報告

記録用紙

※ 秒の記入は必要だが、違反等の記録として有用なもので、大体は記入する

Target time = 55

A=エリア侵入早、C=チェックイン早/遅、P=パルク違反、R=HQへの報告

車番	エリア進入時刻			チェックイン時刻			予定スタート時刻		前TC/SS時刻		違反(要報告)			備考		
	hour	min	sec ※	hour	min	sec ※	hour	min	hour	min	A	C	P 報			
1	0	09	29	10	09	30	11	09	33	08	38	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(早/遅)	<input type="checkbox"/>	
2	00	09	54	09	55	01	09	58	09	03	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(早/遅)	<input type="checkbox"/>		
3	1	09	58	10	00	04	10	03	09	05	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(早/遅)	<input checked="" type="checkbox"/>		
4	2	10	02	10	02	06	10	05	09	06	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	(早/遅)	<input checked="" type="checkbox"/>		
5	3	10	02	10	02	10	10	05	09	07	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(早/遅)	<input type="checkbox"/>		

※ 秒の記載は必要ないが、あった方が状況を思い出すのに便利

TC予告看板を通過した時刻(秒については概数)

目標チェックイン時刻の1分前以前にTC予告看板を通過した場合は、チェックを付けSCへ報告

SCへ報告し終わったらチェックをつける

目標チェックイン時刻早着or遅着の場合は、チェックとOを付けSCへ報告

SS Start

<開設準備>

- 主催者の定めた時刻もしくは、遅くとも1号車スタート時刻の30分前までに開設 →WRSR & RRR 42.4.1
→ラ開規_細入_21条_1.(6)
- スタートシステムの時刻合わせを確認 →ラ開規_細入_9条_2.
- フライングチェッカー(使用する場合)の作動確認(含む印字装置) →ラ開規_細入_9条_2.
→WRSR & RRR 48.2.2
- 確実なスタートラインを設置する →WRSR & RRR 48.2.2
→ラ開規_細入_26条_6.2)
- フライングチェックの光電管はスタートラインの先**50cm(国内は2023年から)**に設置 →WRSR & RRR 48.2.2
→ラ開規_細入_26条_6.2)
- 無線の感明チェック(対SC・ラジオ・HQ・TC) HQへの連絡手段→ラ開規_細入_8条_2.(2) 6)・26条_1.
- TIV・MIV(FIV)はスタートの先に配置 →APEX_H 5.5.1 a)
→ラ開規_細入_8条_2.(2) 6)
→WRSR & RRR APPENDIX I
- 4kg×2本相当の消火器 →ラ開規_細入_24条_2.(1)
→WRSR & RRR 42.6.2
→ラ開規_細入_21条_3.
- 約25m前方(STOP寄り)に解除看板 →ラ開規_細入_9条_1.
- タバードの着用、チーフはチーフとわかるタバードを着用 →ラ開規_細入_13条
- タイムカードの記入は公式審判員資格B3級以上の所持者が担当
- 00カー通過後は競技体制を維持

<競技中>

- ① スタートラインに車の先端を合わせて止める(エンジンがかかった状態で停止させる) →ラ開規_細入_26条_5.)
前車との間隔が2分以上になる場合、早発しないように注意(車両の前に立つのが効果的)
停止後車両の移動はスタート時刻まで禁止(違反はSCを通して審査委員会へ報告)
国際格式では、誘導棒をスタートライン上に立て、車両を適切な位置に誘導する。車両が所定に位置についても、スタート1分前までは、誘導棒は撤去しない。 →WRSR & RRR 48.2.4
→ラ開規_細入_26条_6.1)
- ② スタート時刻決定、カード記入→**記入したらすぐに競技者へカードを返却** →WRSR & RRR 48.2.3
→ラ開規_細入_26条_6.1)
チェックインタイムから3分以上経過した時刻(**TWZがある場合は延長可→要確認**) →WRSR & RRR 44.4.4
→ラ開規_細入_22条
スタート間隔は、当該レグのスタート間隔と同一(遅着等で長くなる場合はある) →ラ開規_細入_26条_13.
赤旗提示時にスタート間隔を変えて良いというルールはないが、主催者がスタート間隔を変えてスタートさせる場合もある。SCに確認要(カードに記入する時刻も含め)→次TCが混乱
スタート間隔の変更を競技長が指示する場合がありますので要注意(WRCはルールなし) →RRR 41.2
→ラ開規_細入_19条_6)
- ③ エントラントの理由でのスタート時刻変更は禁止
不可抗力が生じた場合は、担当競技役員がスタート時刻を変更できる →ラ開規_細入_26条_7.
ペナルティ(1分当たり1分)の対象になるが、スタート時刻を変更してスタート可 →WRSR & RRR 48.4.1
→ラ開規_細入_26条_8.
- ④ スタート進行・監視(フライングスタート)
- ⑤ パルク違反監視(TC予告看板・解除看板間では一切の車両整備禁止) →WRSR & RRR 63.1.2
→ラ開規_細入_21条_1.(2)
TCからスタート時刻まで13分以上ある場合は、タイヤ圧は調整可(国際格式のみ) →WRSR 13.8 & RRR 13.10
- ⑦ 告知事項(コース情報や赤旗提示状況)伝達→何号車から伝達したかSCへ報告
- ⑧ 赤旗提示時は、スタートでも赤旗を提示する(国際格式のみ) →WRSR & RRR 53.5.6
- ⑨ 安全装備確認と注意(ヘルメットのストラップ・シートベルト・グローブ・FHR・窓) →ラ開規_細入_26条_3. & 31条_8.&9.
※ FHR(Frontal Head Restraint)=HANSIに代表される頭頸部保護装置
- ⑩ 記録用紙記入(次ページ参照)

<撤収時>

- 全競技車が到着、もしくは最終号車の到着予定時刻(国際格式は最大遅着時刻)後15分を経過 → WRSR & RRR 42.4.2
→ラ開規_細入_21条_1.(7)
- Sweeper通過まで競技体制を維持 →ラ開規_細入_13条

<特記事項>

- ※ スタート手順は、特別規則書で確認する → WRSR & RRR 48.2.1
→ラ開規_細入_26条_6.2)~4)
- ※ 電光表示を使用しても、30秒前はコールする(国際格式は不要) →ラ開規_細入_26条_6.2)~4)
- ※ マニュアル時は、30秒前,15秒前,10秒前,5,4,3,2,1とカウントダウン → WRSR & RRR 48.2.3
→ラ開規_細入_26条_6.1)
- ※ グラベルスタートでスタート位置が掘られて支障がある場合の対応方法をSCと打ち合わせておく
規則上の決まりはないが、スタート位置の変更、停止位置の変更等の可能性あり
- ※ FHRは推奨(全日本では必須)だが、装備している場合は確実にセットさせる
過去にFHRを装備していたのに装着せず、重傷を負った事例あり →全ラ統一規則 2023 第9条1)
- ※ 20秒以上経過してもスタートできない車両は離脱となり安全な場所へ移動させる →WRSR & RRR 48.4.3
→ラ開規_細入_25条_5.
- ※ フライングスタートは、SCへ報告すると共に、全日本ではSTOPへ連絡しエントラントへ通告
- ※ 記入時刻は00:01~24:00(WRCは00:00~23:59)の形式で記入 → WRSR & RRR APPENDIX II 6.1
→ラ開規_細入_20条_1
- ※ 中断後スタート再開の際、スルーとかキャンセルなどの誤解されやすい表現ではなく、どのような扱いなのか指示する事(競技走行/赤旗での非競技化走行/アイテナリからSS削除/ALTルート有無)

SS Start

タイムカード (サンプル)

※赤文字部分を記入

タイムカードより転記

実際のスタート時刻を記入
TC到着時刻(チェックイン時刻)から3分以上(TWZがある場合は、3分とは限らないので、要確認)経過していること。
※スタート予定時刻を見ても良いが、TCが計算ミスをしている場合もあるので、TC到着時刻を確認する

エントラントへの告知事項がある場合は、メモ欄として利用する(告知初号車も記録)

記録用紙

告知内容:(路面、天候、状況等) 告知 号車:

※グレーの部分はできる範囲の記入で良い
W:窓, B:ベルト, S:顎紐, G:手袋, H:HANS, 報:山長への報告, 連:STOPへの連絡

車番	予定 start	実Start	driver※			co-dra※		反則スタート 報 連	備考	告知
			W	B	S	G	H			
1	0 0 9 3 3	0 9 : 3 3	☑	☑	☐	☐	☑	☑	フライング0.5秒	☐
2	00 0 9 5 8	0 9 : 5 8	☑	☑	☑	☑	☐	☐		☐
3	1 1 0 0 3	1 0 : 0 3	☑	☑	☑	☑	☐	☐		☐
4	2 1 0 0 5	1 0 : 0 5	☑	☑	☑	☑	☐	☐		☐
5	3 1 0 0 5	1 0 : 0 6	☑	☑	☑	☑	☐	☐		☐

告知したかの忘備録

安全装備関係チェックの備忘録(推奨)

SCへの報告、STOPへの連絡の忘備録

反則スタートがあった場合の内容(詳細)

SS FLYING FINISH (FF)

<開設準備>

- ❑ 主催者の定めた時刻もしくは、遅くとも1号車到着時刻の30分前までに開設 →WRSR & RRR 42.4.1
→ラ開規_細入_21条_1.(6)
- ❑ オフィシャルの安全を確保できる場所を確保
- ❑ 公式時計の時刻を確認 →ラ開規_細入_9条_2.
- ❑ 計時システムの作動確認(含む印字装置) →ラ開規_細入_9条_2.
- ❑ 無線の感明チェック(対STOP)
- ❑ 約100m後方(Start寄り)に予告看板設置 →WRSR & RRR APPENDIX I
→ラ開規_細入_別添2
- ❑ 計測点に白線を引く
- ❑ タバードの着用、チーフはチーフとわかるタバードを着用 →WRSR & RRR 42.6.2
→ラ開規_細入_21条_3.
- ❑ メインとサブは別々の人間が測定
ルールにはないが、測定できないリスクを最小化するため
- ❑ 00カー通過後は競技体制を維持 →ラ開規_細入_13条
- ❑ 光電センサー・反射鏡等の計時機器は、競技車との接触や風雨の影響を考慮した位置に設置する

<競技中>

- ① 測定した時刻(メイン・サブ共)を記録用紙に記入
- ② 可能なら車番を記録する→不明の場合はSTOPに問い合わせる
- ③ 記録した時刻(トラブルのない限りメイン)をSTOPへ連絡
- ④ パルク違反の監視(FF予告看板・解除看板間では一切の車両整備禁止) →WRSR & RRR 63.1.2
→ラ開規_細入_21条_1.(2)
- ⑤ FF予告→STOP間の停車の監視 →WRSR_49.1
→ラ開規_細入_26条_9.
- ⑥ 記録用紙記入(次ページ参照)

<撤収時>

- ❑ 全競技車が到着、もしくは最終号車の到着予定時刻(国際格式は最大遅着時刻)後15分を経過後 → WRSR & RRR_42.4.2
→ラ開規_細入_21条_1.(7)
- ❑ Sweeper通過まで競技体制を維持 →ラ開規_細入_13条

<特記事項>

- ※計時を1/10秒まで記録するか、特別規則書で確認する(国際格式は1/10秒) →WRSR & RRR 47.1
- ※WRCのパワーステージでは1/1000秒まで計時する →ラ開規_細入_26条_2.
→WRSR 47.1
- ※**時刻を丸める際は切り捨て** →ラ開規_細入_26条_10.
- ※FF→STOPの時刻の伝達方法は、色々な方法があるので、STOPと事前に確認する
- ※メイン計時システムの時刻がSTOPでしか見られない装置がある。2度切れするなどのトラブルに対して、対応方法を事前に取り決める(サブの計時時刻を無線で連絡するなど)
- ※記入時刻は00:01~24:00(WRCは00:00~23:59)の形式で記入 → WRSR & RRR APPENDIX II 6.1
→ラ開規_細入_20条_1.
- ※**計時機器(特にSEIKO製プリンティングタイマー)と無線機のアンテナが近いと、電波による障害で計時機器が誤動作します。少なくとも50cm、できれば1m以上の距離をとること**

SS FLYING FINISH (FF)

主計時システムのフィニッシュ時刻
1/10秒で計時する場合は、STOPへは1/100秒を切り捨てて伝える

副計時システム(バックアップ用)の時刻を記入する

記録用紙

1. 主計時システムとも、1/100秒まで記録し、STOPへは切捨て1/10秒を連絡する		2. 予告降で違反事項(停車・追越・後進など)は無線連絡後備考欄に記入してください		3. 車番なかった場合は、STOPに確認して記入してください。								
No.	車番	FF time(主システム)					FF time(副システム)					備考(違反内容等) ↓違反報告
		hour	min		sec		hour	min		sec		
			1/10	1/100	1/10	1/100		1/10	1/100			
1	0	0	58	43	72	09	58	43	69	<input type="checkbox"/>		
2	00	10	14	18	21	10	14	17	17	<input type="checkbox"/>		
3	1	10	19	13	92	10	19	13	89	<input type="checkbox"/>		
4	2	10	20	12	83	10	20	12	80	<input type="checkbox"/>		
5	3	10	21	14	28	10	21	14	25	<input type="checkbox"/>		

※ 切捨てされたことがわかるように1/100秒まで記録するようにしてあります

パルク違反・停車/追越等の際に内容をメモをする
SCに報告したら✓をつける

SS STOP

<開設準備>

- 主催者の定めた時刻もしくは、遅くとも1号車到着時刻の30分前までに開設 →WRSR & RRR 42.4.1
→ラ開規_細入_21条_1.(6)
- 無線の感明チェック(対SC・ラジオ・HQ・FF)
- HQとの連絡手段の確認 →ラ開規_細入_8条_2.(2) 7)
- 4kg×2本相当の消火器 →APEX_H 5.5.1 c)
- 約25m前方に解除看板設置 →ラ開規_細入_8条_2.(2) 7)
→WRSR & RRR APPENDIX I
→ラ開規_細入_別添2
- ラジオトラッキングとFFからの無線受信には各々専任配置が望ましい。
STOPがいち早く行方不明車両の存在を認識することは、有事の際の安全性に影響大
- タバードの着用、チーフはチーフとわかるタバードを着用 →WRSR & RRR 42.6.2
→ラ開規_細入_21条_3.
- タイムカードの記入は公式審判員資格B3級以上の所持者が担当 →ラ開規_細入_9条_1.
- 00カー通過後は競技体制を維持 →ラ開規_細入_13条

<競技中>

- ① FFから通過時刻を受信、記録用紙に記入
- ② タイムカードにFF通過時刻・所要時間を記入
- ③ スタートから反則スタートの連絡があった場合は、エントラントに告知する。(全日本のみ)
所要時間は、実際のスタート時刻から計算する。 →WRSR & RRR 48.6
→ラ開規_細入_26条_6.5)
- ④ 行方不明車情報の聞き取り(SOS/OK、コース状況、三停板、概略距離、左右)
- ⑤ 暫定結果表への記入(余裕がある場合)
- ⑥ パルク違反の監視(FF予告看板・解除看板間では一切の車両整備禁止) →WRSR & RRR 63.1.2
→ラ開規_細入_21条_1.(2)
- ⑦ FIA指定のタイヤ供給者の代表はSTOPエリアに入り、タイヤの目視検査と温度測定が許される
(国際格式のみ) →WRSR 13.10 & RRR 13.13
- ⑧ FF予告→STOP間の停車の監視 →WRSR 49.1
→ラ開規_細入_26条_9.
- ⑨ 記録用紙記入(次ページ参照)

<撤収時>

- 全競技車が到着、もしくは最終号車の到着予定時刻(国際格式は最大遅着時刻)後15分を経過後 → WRSR & RRR 42.4.2
→ラ開規_細入_21条_1.(7)
- Sweeper通過まで競技体制を維持 →ラ開規_細入_13条

<特記事項>

- ※計時を1/10秒まで記録するか、特別規則書で確認する(国際格式は1/10秒) →WRSR & RRR 47.1
→ラ開規_細入_26条_2.
→WRSR 47.1
- ※WRCのパワーステージでは1/1000秒まで計時する
- ※記入時刻は00:01~24:00(国際は00:00~23:59)の形式で記入 → WRSR & RRR APPENDIX II 6.1
→ラ開規_細入_20条_1.
- ※FFの通過時刻を聞く担当は、時刻の書き取りを最優先する
- ※有事の際、チーフもしくはDSCが行方不明車両の聞き取りに集中できる様、役務配分を考える
- ※FF→STOPの時刻の伝達方法は、色々な方法があるので、FFと事前に確認する
- ※メイン計時システムの時刻がSTOPでしか見られない装置がある。2度切れするなどのトラブルに対して、対応方法を事前に取り決める(サブの計時時刻を無線で連絡するなど)
- ※トラッキング担当は、未着車両(行方不明車)がでたり、ステージ内で追越があった場合、SC/DSCに報告する。
- ※ダメージのある車両(2024年版から追加された)
4つの自由に回転する車輪(ホイールとタイヤの両方が正しく装着されている状態)で走行できない車両・ドライバーの視界を著しく妨げるほどフロントガラスにダメージを負った車両は競技中一切走行させてならない(前者は国際ではロードセクションのみ適応) →WRSR 34.1.5 34.1.6 & RRR 13.10
→ラ開規_細入_10条_11.

SS STOP

タイムカード (サンプル)

※赤文字部分を記入

TC 2 SS 2 西山B 南下 1 3.354 km

選手使用欄

フィニッシュ時刻 H M S 1/10
10 21 14 2

スタート予定時刻 SS 2 H M
10 06

実スタート時刻 H M
10 06

目標時間 H M
00 55

到着予定時刻 H M
TC 3

所要時間 H M S 1/10
15 14 2

TC 3

FFから入手した
フィニッシュ時刻

タイムカード
より転記

所要時間を
フィニッシュ時刻 - スタート時刻
で計算

記録用紙

車番	フィニッシュ時刻				スタート時刻		所要時間				備考
	hour	min	sec	/10	hour	min	min	sec	/10		
1	09	58	43	7	09	33	25	43	7	<input type="checkbox"/>	スタートから反則スタートの連絡が来た場合、告知したかの忘備録 タイムカードのフライング欄に✓を入れる
2	10	14	18	9	09	58	16	18	2	<input type="checkbox"/>	
3	10	19	13	9	10	03	16	1	9	<input type="checkbox"/>	
4	10	20	12	8	10	05	15	12	8	<input type="checkbox"/>	
5	10	21	14	2	10	06	15	14	2	<input type="checkbox"/>	

不明車捜索用 聞き取り調査票

調査対象		地点		時刻				
号車: 9	車種: VAB	最後のTracking point	Start	10:12				
		未着のTracking point	Radio 1					
後続競技車からの聞き取り			※ D=Driver, C=Co-Driver					
車番	D or C*	時刻	見たか	OK/SOS	通過可否	三停板	目撃地点(XXより〇〇kmなど)	左側/右側
10	ドラ	10:30	見た	歩いてた	可能	?	Radio 1の先 左コーナー	右
11	コドラ	10:31	↓	OKあり	↓	設置中	Radio 1の先500mくらい	↓
12	ドラ	10:32	↓	↓	↓	あり	↓	↓

後続車に聞くべき項目の確認とメモに利用する

RADIO

<開設準備>

- ❑ 主催者の定めた時刻もしくは、遅くとも1号車到着時刻の30分前までに開設（規則にはない）
- ❑ オフィシャルの安全を確保できる場所を確保
- ❑ 故障車両等が退避してくる可能性を考慮して、配置を考える
- ❑ 無線の感明チェック(他の全Radio or 中継との感明)
- ❑ 3kg以上の消火器
- ❑ 約100m後方(Start寄)に予告看板設置、「各コントロールの設置について」参照 →ラ開規_細入_8条_2.(2)_5
→APEX_H 5.5.4.4 & WRSR & RRR APPENDIX I
→APEX_H 5.5.4.3
→ラ開規_細入_別添2
- ❑ 赤旗の準備
- ❑ 安全かつエントラントから見えやすい赤旗掲示位置を決めておく
- ❑ 赤旗掲示位置にラジオ看板を設置する・予告看板もコースの同じ側に設置
- ❑ 通過車番を見る人と無線対応/記録係は別の方が良い
車両通過中に無線対応をする場合など一人で確実にこなすのは難しい
赤旗提示で一人が車外で旗を提示する場合の分担も事前に決めておく
- ❑ タバードの着用(赤旗担当はラジオのタバードが必須) →WRSR & RRR 53.5.2
→ラ開規_細入_21条_3.
- ❑ 夜間は競技車を幻惑しないように注意
- ❑ 00カー通過後は競技体制を維持 →ラ開規_細入_13条
- ❑ トラッキングのやり方は、中継の有無・SSの距離などで色々なやり方があるので、事前に
コマンダーと打ち合わせておく

<競技中>

- ① トラッキングの推奨は別紙「トラッキング」を参照
- ② 00からSWP到着までトラッキングする。赤旗掲示中もトラッキング継続
- ③ 記録用紙に記入し、行方不明車の有無をチェックする(「トラッキング」参照)
- ④ 競技車が事故車両について報告に来る場合がある。報告内容をメモし、コマンダーに
即、報告する(トラッキングより優先)。コマンダーの許可を得てから報告車をSTOPへ向
かわせる。 →ラ開規_細入_26条_15_8)①
→WRSR & RRR 53.5.2
- ⑤ 競技長から赤旗提示指示の際は、車外で旗を出す(静止掲示)
→旗の掲示開始時刻と最初に見た車両を記録しSCに報告 →ラ開規_細入_26条_14_1)
→赤旗提示中であっても、トラッキングは継続する(新たな不明車確認や逆走時の安全確保の為)

<撤収時>

- ❑ Sweeper通過まで競技体制を維持 →ラ開規_細入_13条

<特記事項>

無線使用時の注意

- 無線の内容は必要最低限の内容とする
- PTTボタンを押しても、すぐに送信できない。ワテンポ置いて(0.5秒位)から話始める
- 発信者・受信者がわかるようにする。仲間内しかわからない呼び方は慎む
 - 【×】「住民の方が通行したいと言っています。どうしましょうか？」
→発信者及び送信先がわからない
 - 【◎】「封鎖1からコマンダーどうぞ」
「こちらコマンダー 封鎖1どうぞ」
「住民の方が通行したいと言っています。通して良いですか？」
- 簡潔に話す 話始める前に言う内容を考えておく、誤解しやすい表現はしない
- 返信を求めない場合 「一方的に送ります」or「○○より送り込み」で始める
- 返信を求める場合 「どうぞ/送れ」で終わる
- 会話を終了する場合 「以上/おわり」で終わる
- 緊急対応「ブレイク」と聞こえたら、必ず「ブレイクさんどうぞ」と言い回線を譲ること

00-Car 確認チェックリスト(参考)

STAGE NO.		STAGE NAME	
-----------	--	------------	--

TC	<input type="checkbox"/> 看板 <input type="checkbox"/> タバード <input type="checkbox"/> 時刻							無線の状況	OFFICIAL	
									人	
START	<input type="checkbox"/> 看板 <input type="checkbox"/> 消火器 <input type="checkbox"/> ライン <input type="checkbox"/> 時刻 <input type="checkbox"/> タバード <input type="checkbox"/> 配置 <input type="checkbox"/> 動作							無線の状況	OFFICIAL	
									人	
スタート時刻			時				分			
POST	Km	番号	POST	SOS				MEDIA	観客	OFFICIAL
				タバード	看板	赤旗	消火器			人
				タバード	看板	赤旗	消火器			人
				タバード	看板	赤旗	消火器			人
				タバード	看板	赤旗	消火器			人
				タバード	看板	赤旗	消火器			人
				タバード	看板	赤旗	消火器			人
				タバード	看板	赤旗	消火器			人
				タバード	看板	赤旗	消火器			人
				タバード	看板	赤旗	消火器			人
				タバード	看板	赤旗	消火器			人
				タバード	看板	赤旗	消火器			人
				タバード	看板	赤旗	消火器			人
				タバード	看板	赤旗	消火器			人
				タバード	看板	赤旗	消火器			人
				タバード	看板	赤旗	消火器			人
	<input type="checkbox"/> 全ての枝道のテーピング・封鎖									
	FF	<input type="checkbox"/> 看板 <input type="checkbox"/> 時刻 <input type="checkbox"/> 計測点 <input type="checkbox"/> タバード							無線の状況	OFFICIAL
										人
STOP	<input type="checkbox"/> 看板 <input type="checkbox"/> 消火器 <input type="checkbox"/> 時刻 <input type="checkbox"/> タバード							無線の状況	OFFICIAL	
									人	

ステージ セットアップ 確認	時	分	00-Car	ステージ責任者	競技長
----------------------	---	---	--------	---------	-----

TRACKING

TRACKINGをすることは規則APEX_H 5.5.4.5
開規_細入_8条 2.(2) 4)で定められているが、やり方については定められていない。ここでは推奨する方法を記載するが、SCの指示の下、状況に応じてやり方は変えても構わない
※ RADIO、SSのスタート、STOPの無線担当、HQ管制含む

<トラッキングのポイント>

- ① トラッキングのやり方や状況は様々な違いがあるので、00・0カーを利用して、トラッキング練習をすることを強く推奨する(特に当該チームの最初のSS)
- ② 通過車番を抜けなく報告すること→次ページの記録方法参照
(どうしても車番がわからない時は、車種・色などの特徴を記録)
- ③ 無線の内容は必要最低限の内容以外話さない
※ 無線のPPTボタンを押し、一息入れて話し始める
- ④ 行方不明車捜索など優先度の高い通信がある場合は、記録は続けるが無線発報は一時停止する場合もある ※ 赤旗提示中であっても、トラッキングは継続する(一時停止可)
(新たな不明車確認や逆走時の安全確保の為)
- ⑤ Start・STOPのトラッキング担当は、未着車両(行方不明車)がでた場合、SC・DSCに報告する。

<通常時>

毎分0秒にスタートから順番に通過車番を無線で報告する

<例> スタート : 「16分 5号車スタート」
Radio 1 : 「Radio 1 通過なし」
Radio 2 : 「Radio 2 3号車・4号車通過」
Radio 3 : 「Radio 3 通過なし」
Radio 4 : 「Radio 4 通過なし」

<中継>

無線状況により中継が入る場合

<例> スタート : 「16分 5号車スタート」
中継 : 「スタート 16分 5号車 Radio 1 どうぞ」
Radio1 : 「Radio 1 通過なし」
中継 : 「Radio 1 通過なし Radio 2 どうぞ」
Radio2 : 「Radio 2 3号車・4号車通過」
中継 : 「Radio 2 3号車・4号車通過 Radio 3 どうぞ」
Radio3 : 「Radio 3 1号車通過」
中継 : 「Radio 3 1号車通過 Radio 4 どうぞ」
Radio4 : 「Radio 4 通過なし」
中継 : 「Radio 4 通過なし、以上」

<緊急時等で中断された場合>

緊急時の通信等で、トラッキングができなかった場合には、2分(3分)分をまとめてトラッキングする場合もある

<例> スタート : 「17分14号車 18分15号車スタート」
Radio 1 : 「Radio 1 10号車・11号車通過」
Radio 2 : 「Radio 2 5号車・6号車」
Radio 3 : 「Radio 3 1号車通過」
Radio 4 : 「Radio 4 通過なし」

※ ラジオは2分以上纏めての報告でOK

<特記事項>

- ★ スタートラジオはスタートする車両が無い場合も行う(忘れがち)
- ★ Sweeper通過後は起点をスタートから変更する場合もある
- ★ 自ポストをSweeperが通過しても、SweeperがSTOPに到達するまでは、SS内で競技は継続されているので、トラッキングと緊急連絡以外で無線を使用しない

TRACKING

記録用紙

報告時刻	Start	Radio 1	Radio 2	Radio 3	Radio 4	備考
10:03	□ 1	□ -	□ -	□ -	□ -	
10:04	□ -	□ -	□ -			
10:05	□ 2	□ -	□ -			
10:06	□ 3	□ -	□ -			
10:07	□ 4	□ 1	□ -			
10:08	□ 5	□ -	□ -			
10:09	□ 6	□ 2	□ -			
10:10	□ 7	□ -	□ -			
10:11	□ 8	□ 3 4	□ -			
10:12	□ 9	□ 5	☑ 1	□ -	□ -	
10:13	□ 10	□ 6	□ -	□ -	□ -	
10:14	□ 11	□ 7	☑ 2	□ -	□ -	
10:15	□ 12	□ 8	□ -	□ -	□ -	
10:16	□ 13	□ -	☑ 4 3	□ -	□ -	
10:17	□ 14	□ 10	☑ 5	□ -	□ -	
10:18	□ 15	□ 11	☑ 6	□ 1	□ -	
10:19	□ 16	□ 12	☑ 7	□ -	□ -	
	□	□	□ 8	□	□	
	□	□	□	□	□	

【10:16のTracking内容】
 スタート：「16分13号車スタート」
 Radio 1：「Radio 1、通過なし」
 Radio 2：「Radio 2、4号車・3号車通過」
 Radio 3：「Radio 3、通過なし」
 STOP：「STOP、到着なし」
 ※ 10:16 02秒ぐらいにスタートが無線を入れ、各ラジオポイントが続いて無線を入れていく。10:16のTrackingでは、10:15で報告した車両の後通過した車両を報告する。よって、10:16分台に通過した車両をTrackingするわけではない。Tracking中に通過した車両は、報告漏れがなければ、次分のTrackingでの報告で問題ない。

3号車が4号車に追い抜かれた

9号車がRadio1に到着していない
 →Radio1の見落としかもしれないので、注意して通過を確認する

10:19のTracking後に通過した車番を次の行にメモしておく

10:20のTrackingの際、自分の順番で「Radio 2、8号車通過」と報告し、□に✓をつける

TC(Service周り)

<開設準備>

- 主催者の定めた時刻もしくは、遅くとも1号車スタート時刻の30分前までに開設する →WRSR & RRR 42.4.1
→ラ開規_細入_21条_1.(6)
- 公式時計の時刻を確認 →ラ開規_細入_9条_2.
- TC看板・予告看板・解除看板の設置は「各コントロールの設置について」を参照 →ラ開規_細入_別添2
- タバードの着用、チーフはチーフとわかるタバードを着用 →WRSR & RRR 42.6.2
→ラ開規_細入_21条_3.
- HQとの無線感明(感度)確認
- タイムカードの記入は公式審判員資格B3級以上の所持者が担当 →ラ開規_細入_9条_1.
- 00カー通過後は競技体制を維持 →ラ開規_細入_13条

<競技中>

- ① エリア進入時刻チェック
目標チェックイン時刻の1分以上前のエリア進入はHQへ報告 →WRSR & RRR 44.2.8
→ラ開規_細入_23条_7.
- ② チェックインタイム(カードを受取った時刻)をタイムカードに記入 →WRSR & RRR 44.2.5 & 44.3.1
→ラ開規_細入_24条_2.(2)
- ③ 遅着早着チェック
目標チェックイン時刻(前TCのスタート時刻 + 目標所要時間、前TCがSSを伴う場合は、SSスタート時刻 + 目標所要時間)に対して実際のチェックイン時刻を確認、遅着・早着はHQへ報告
→WRSR & RRR 44.2.6 & 44.2.9 & 44.2.10
→ラ開規_細入_23条_12.
15分以上の遅着となった場合、レグ離脱/リタイヤとなる可能性がある。国際格式では各TCもしくは
は1日の遅着時間の累計が30分を超過した場合(エントラントへの通告はセクションの終わりではなされる) → WRSR & RRR 45.1 & 45.3
→ラ開規_細入_別添5
- ④ パルク違反監視(TC予告看板・解除看板間では一切の車両整備禁止) →WRSR & RRR 63.1.2
→ラ開規_細入_21条_1.(2)
- ⑤ チェックイン手順への違反を目撃した場合、迅速にチーフが文書で競技長へ報告する(国際格式) →WRSR & RRR 44.2.12
- ⑥ 記録用紙記入(次ページ参照)

<撤収時>

- 全競技車が到着、もしくは最終号車の到着予定時刻(国際格式は最大遅着時刻)後15分を経過後
→ WRSR & RRR 42.4.2
→ラ開規_細入_21条_1.(7)
- Sweeper通過まで競技体制を維持 →ラ開規_細入_13条

<特記事項>

- ※チェックイン時刻には2人のクルーと車両が到着している必要がある →WRSR & RRR 44.2.3
→ラ開規_細入_23条_3.
但し、エリアが競技車で混雑していてエリアに進入できない場合は、コドラが車両を降りてタイムカードを提出することができる。この場合、当該車両にはパルクフェルメ規制が適用される。
- ※特別規則書・公式通知により、早着のペナルティをとらない場合もある。**その場合でも、実チェックイン時刻を記入する。(2022年までは、規則上は目標チェックイン時刻をタイムカードに記入することになっていた)**
- ※記入時刻は00:01~24:00(WRCは00:00~23:59)の形式で記入 →ラ開規_細入_23条_10.
→ WRSR & RRR APPENDIX II 6.1
→ラ開規_細入_20条_1.

TC(Service周り)

※赤文字部分を記入

タイムカード (サンプル SSの次のTC4Aの例)

タイムカードより転記(全車同分が記載されている)

タイムカードを受取った時刻、秒は切捨(秒については概数)

タイムカードから転記
 ・前がTCがSSを伴う場合はSSの実スタート時刻
 ・その他は、前TCのスタート時刻

記録用紙

※ 数字はダミーです

秒の記入は不要だが、同等の記録として有用なので、大体で良いので記入を推奨する。

A=侵入早、C=チェックイ早/遅、P=パルク違反、報=HQへの報告

車番	エリア進入時刻			チェックイン時刻			前TC/スタート時刻		違反(要連絡)				
	hour	min	sec ※	hour	min	sec ※	hour	min	A	C	P 報		
1	00	09	29	10	09	30	11	08	55	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	0	09	54	05	09	55	01	09	20	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	1	09	58	58	10	00	04	09	25	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
4	2	10	02	05	10	02	06	09	26	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
5	3	10	02	07	10	02	10	09	27	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

TC予告看板を通過した時刻(秒については概数)

目標チェックイン時刻の1分前以前にTC予告看板を通過した場合は、チェックを付けSCへ報告

目標チェックイン時刻早着 or 遅着の場合は、チェックとOを付けSCへ報告

コントロールエリア内での整備を行った場合は、チェックを付け、SCへ報告

SCへ報告し終わったらチェックをつける

※エリア進入時刻とチェックイン時刻の秒の記載は必要ないが、あった方が問い合わせ時に状況を思い出すのに便利

REGROUP IN TC

<開設準備>

- 主催者の定めた時刻もしくは、遅くとも1号車スタート時刻の30分前までに開設する →WRSR & RRR 42.4.1
→開規_細入_21条_1.(6)
- 公式時計の時刻を確認 →開規_細入_9条_2.
- TC看板・予告看板・解除看板の設置は「各コントロールの設置について」を参照する →WRSR & RRR APPENDIX I
→開規_細入_別添2
- タバードの着用、チーフはチーフとわかるタバードを着用 →WRSR & RRR 42.6.2
→開規_細入_21条_3.
- HQとの無線感明(感度)確認
- タイムカードの記入は公式審判員資格B3級以上の所持者が担当 →開規_細入_9条_1.
- 00カー通過後は競技体制を維持 →開規_細入_13条
- Regroup OUT 時刻の決定方法・リタイヤ車両情報の入手方法は、競技長と事前に確認する
- タイムカードの回収・次セクションのタイムカードの配布場所は、競技長・計時委員長と事前に確認する。Regroup IN で回収・配布すると、TCの作業が単純化でき、ミスを防止できるので推奨する

<競技中>

- ① エリア進入時刻チェック
目標チェックイン時刻の1分以上前のエリア進入はHQへ報告 →WRSR & RRR 44.2.8
→開規_細入_23条_7.
- ② チェックインタイム(カードを受取った時刻)をタイムカードに記入 →WRSR & RRR 44.2.5
→開規_細入_24条_2.(2)
- ③ 時刻記入済みのタイムカードはエントラントの確認後回収する
- ④ 遅着早着チェック
目標チェックイン時刻(前TCのスタート時刻 + 目標所要時間、前TCがSSを伴う場合は、SSスタート時刻 + 目標所要時間)に対して実際のチェックイン時刻を確認、遅着・早着はHQへ報告 →WRSR & RRR 44.2.6 & 44.2.9 & 44.2.10
→開規_細入_23条_12.

15分以上の遅着となった場合、レグ離脱/リタイヤとなる可能性がある。国際格式では各TCもしくは1日の遅着時間の累計が30分を超過した場合(エントラントへの通告はセクションの終わりになされる) → WRSR & RRR 45.1 & 45.3
→開規_細入_別添5

- ⑤ パルク違反監視(TC予告看板・解除看板間では一切の車両整備禁止) →WRSR & RRR 63.1.2
→開規_細入_21条_1.(2)
- ⑥ チェックイン手順への違反を目撃した場合、迅速にチーフが文書で競技長へ報告する(国際格式) →WRSR & RRR 44.2.12
- ⑦ Regroup OUTの時刻を指示する。(フレキシサービス前のRegroupの場合は、Regroup OUT時刻は、許された範囲内でエントラントが決定する) リタイヤ情報がわかった時点で、次セクション用のタイムカードに車番とスタート予定時刻を記入しておき、チェックイン時に渡す方法を推奨する。次セクションのタイムカードをRegroup OUTで渡す場合もあるので、やり方は主催者と確認しておくこと →WRSR & RRR 46.1.1
→開規_細入_25条_3.
- ⑧ 記録用紙記入(次ページ参照)

<撤収時>

- 全競技車が到着、もしくは最終号車の到着予定時刻(国際格式は最大遅着時刻)15分を経過後 → WRSR & RRR 42.4.2
→開規_細入_21条_1.(7)
- Sweeper通過まで競技体制を維持 →開規_細入_13条

<特記事項>

- ※チェックイン時刻には2人のクルーと車両が到着している必要がある →WRSR & RRR 44.2.3
→開規_細入_23条_3.
- 但し、エリアが競技車で混雑していてエリアに進入できない場合は、コドラが車両を降りてタイムカードを提出することができる。この場合、当該車両にはパルクフェルメ規制が適用される。
- ※特別規則書・公式通知により、早着のペナルティをとらない場合もある。**その場合でも、実チェックイン時刻を記入する。(2022年までは、規則上は目標チェックイン時刻をタイムカードに記入することになっていた。)**
- ※記入時刻は00:01~24:00(国際は00:00~23:59)の形式で記入 →開規_細入_23条_10.
→ WRSR & RRR APPENDIX II 6.1
→開規_細入_20条_1.

REGROUP IN TC

※赤文字部分を記入

タイムカード (サンプル TCの次のTC4Bの例)

タイムカードのイメージ

TC 4A: フライング STOP M 15 S 10 1/10 H 9 M 17 所要時間 TC 4A

TC 4A: Service in 選手使用欄 到着予定時刻 H 10 M 02 TC 4B

TC 4B: Service out/Regroup in H 10 M 05 TC 4B

目標時刻: H 00 M 45

<目標チェックイン時刻>
前TCのスタート時刻 + 目標所要時間
※前TCがSSを伴う場合
SSスタート時刻 + 目標所要時間

タイムカード
記入時は秒
は切捨て

タイムカードより
転記(全車
同分が記載
されている)

タイムカードを受
取った時刻、秒
は切捨て(秒につ
いては概数)

タイムカードから転記
・前がTCがSSを伴う場合はSS
の実スタート時刻
・その他は、前TCのスタート時刻

コントロールエリア内
での整備を行った場
合は、チェックを付け、
HQへ報告

記録用紙

※ 数字はダミーです
※ 秒の記入は不要だが、違反等の記録として有用なので、大体で良いので記入を推奨する。
A=エリア侵入早、C=チェックイン早/遅、P=パルク違反、報=HQへの報告

Target time = 45

車番	エリア進入時刻			チェックイン時刻			リグループアウト時刻		TC/SS発時刻		違反(要連絡)			備考	
	hour	min	sec ※	hour	min	sec ※	hour	min	hour	min	A	C	P 報		
1	00	09	29	10	09	30	11	09	45	09	45	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(早/遅) <input type="checkbox"/>	
2	0	09	54	05	09	55	01	10	10	09	10	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(早/遅) <input type="checkbox"/>	
3	1	09	58	58	10	00	04	10	15	09	16	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(早/遅) <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
4	2	10	03	05	10	03	06	10	16	09	17	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	(早/遅) <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
5	3	10	03	07	10	03	10	10	17	09	18	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(早/遅) <input type="checkbox"/>	

TC予告看板を
通過した時刻(秒
については概数)

目標チェックイン時刻の1分前以
前にTC予告看板を通過した場
合は、チェックを付けHQへ報告

HQへ報
告し終え
たらチェッ
クをつける

目標チェックイン時刻早着
or遅着の場合は、チェックと
○を付けHQへ報告

※エリア進入時刻とチェックイン時刻の秒の記載は必要ないが、あつた方が問い合わせ時に状況を思い出すのに便利

各コントロールの設置について

※ 距離についてはでき得る限り、遵守すること。(国内のみ) →ラ開規_細入_別添2

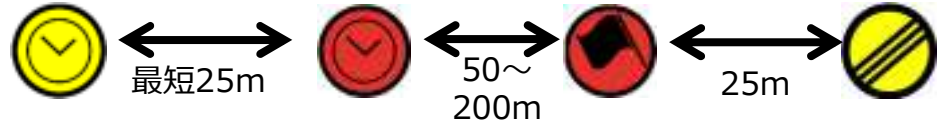
<TC0>

TC0の予告看板は必要有無の両説がある。主催者に確認すべき



<SS前のTC→Start>

緊急車両は、スタートの前方のスタートから見え、最長でも150m以内の場所で待機する →APEX_H 5.5.1 a) 【日本語版は誤訳あり】

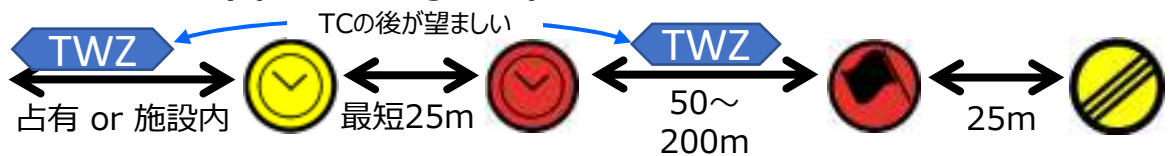


WRSR & RRRでTWZ(Tyre Warming Zone)を設置する場合 →WRSR & RRR 44.4

※TWZの始まりと終わりに看板を設置 →WRSR & RRR 44.4.3 ※ 看板のデザインは、3/7版で追加 RRR APPENDIX I



国内競技規則に則りTWZ(Tyre Warming Zone)を設置する場合 →ラ開規_細入_22条



<SSのFF→STOP>



※ FF・STOP間は、RRR/WRCRでは少なくとも200mとの記載に変更になっている →WRSR & RRR_49.1

<Service前後TC>



<Regroup> ※

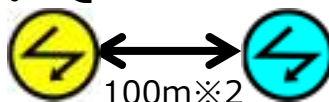


<パルクフェルメ前TC> ※



※ 諸規則には明確な説明がないので、多くの主催者が採用している方式を記述した

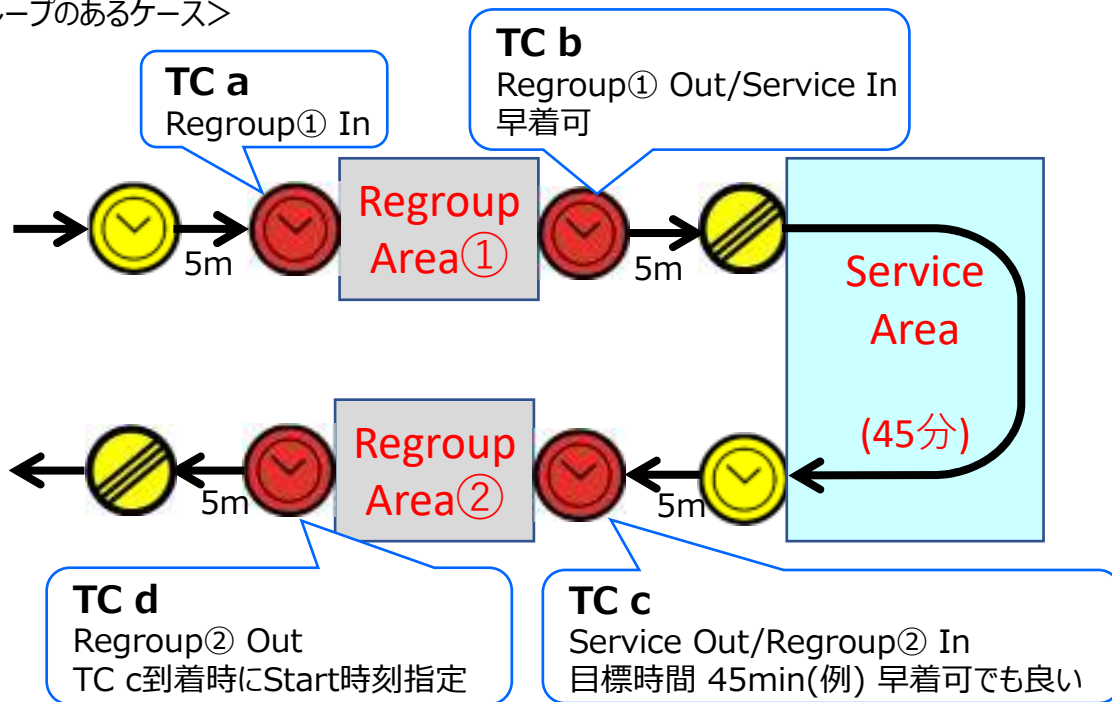
ラジオポイント設置について



※2 APEX_H 5.5.4.4では、100~200mと記載されているが、WRSR & RRR APPENDIX I、ラ開規_細入_別添2には100mと記載されている。後者が一般的に採用されている。

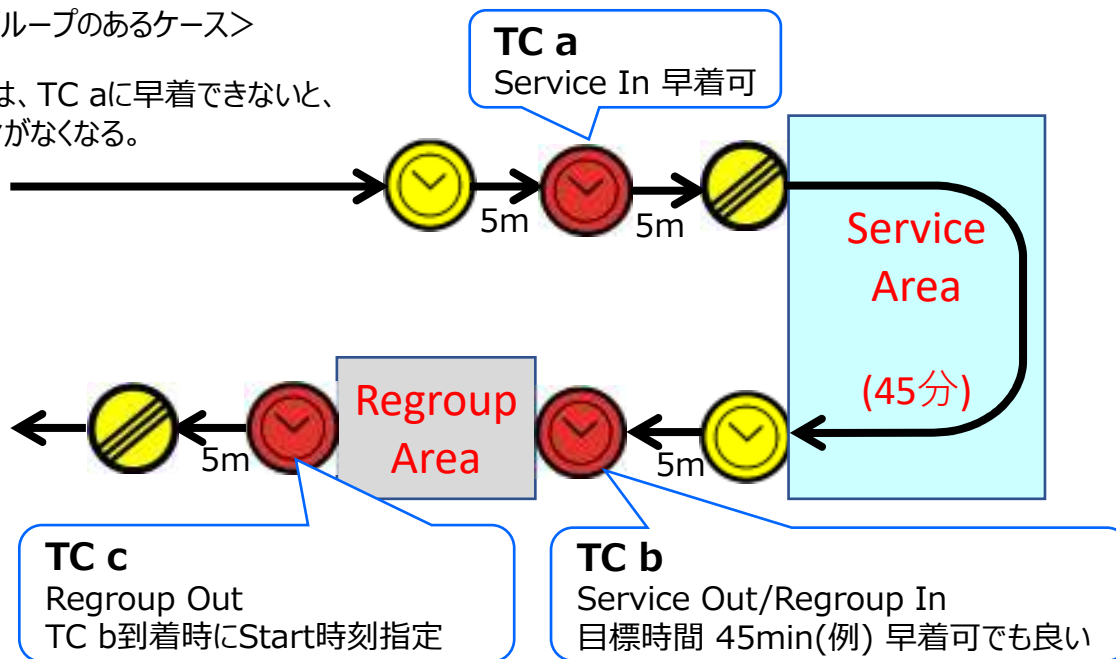
フレキシサービスでのTC配置の例

<サービス前後にリグループのあるケース>



<サービス後だけにリグループのあるケース>

※ このケースは、TC aに早着できないと、フレキシビリティがなくなる。



<RRR・WRSRで規定されたフレキシサービス>

